

# 第28回

## うつのみやこども賞だより

平成23年度 第2回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『アギーの祈り』

濱野京子／作 （偕成社）

『ふぁいと！卓球部』

横沢彰／作 小松良佳／絵（新日本出版社）

～読んだ本の感想より～



- 戦争によって心にキズをうけながらも生きていく子どもたちと、今のじょうきょうを重ねてよむと、とても涙が出てきました。
- アギーとラキが踊っていくのが良かったし、絆が深まっていったのが良かった。
- アギーが〇〇だったところにおどろいた。
- アギーの悲しくつらい思い出が、やさしくてあたたかいものにかわっていく話の流れが好きです。テル・ナキのしてきたことはいいことかどうか、それぞれの登場人物の考えることが違っていてもおもしろかったです。
- アギー先生が、必死にラキをにがそうとしていたところで2人の絆を感じられました。
- ラキの踊りを見たいと思いました。ラキがテル・ナキと同じ才能があるなんてスゴイとおどろきました。



- 卓球についてくわしく分かり、よかったです。チームワークについてもよく分かりました。とても面白かったです。
- 幸平君たちにリベンジして体育館をとりもどしてもらって、卓球を続けてもらいたいです。
- 弱い卓球部だけど、岩島さんと大須賀さんがいてなりたっていたのかも。大須賀さんが部に入ったのが気になる、もっと読みたくなる本だった。
- 拓ががんばっている感じがした。
- 弱いけどやる気がとてもあっておもしろかった。女子には負けたけどチームワークがすごくいい！

『アルフレートの時計台』 斉藤洋／作 （偕成社）

- アルフレートが、クラウドに絵をわたせた所が感動しました。
- アルフレートとクラウドは本当の友達だと思った。時計台はどうして3時から30秒間だけしか扉が開かないのか、不思議に思った。
- クラウドとアルフレートの友情が感じられました。アルフレートの手紙がクラウドにとどけられて、なんだかふしぎな感じがしました。広場のうわさが全部ほんとうだったところがよかったです。
- ペガサスが〇〇だったのが、びっくりした。

『怪盗ブラックの宝物』 那須正幹／作 （福音館書店）

- 怪盗ブラックの宝物が見つかってよかったです。想像して読むのが楽しかったです。
- 公平たちが怪盗ブラックが残した宝をさがしにいくところがおもしろかった。
- 2まいの紙きれのなぞをといて、どんどん宝に近づいていくところがおもしろかった。
- お化け屋敷に住んでいたミスター・ブラックがかくしたと思われる宝石を、公平・健・恵・美登里がいっしょにさがしだしていくところがとてもよかったです。